

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

サブサハラ・アフリカ 気候変動との闘い

国際協力機構（JICA）は、8月28日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、サブサハラ・アフリカ地域の気候変動への適応をテーマに、環境省との共催セミナーを開催しました。森下哲環境省地球環境審議官、イブラヒム・モハメッドケニア環境森林省主席次官、天野雄介 JICA 理事や研究機関・民間・NGO などが登壇し、日本やアフリカ各国などから、120名を超える参加がありました。

サブサハラ地域では、気候変動により豪雨、洪水、干ばつなどが同時進行的に深刻化しており、特に乾燥地・半乾燥地の貧困層は大きな影響を受けています。地域の平和と安定や持続的開発にあたって、統合水資源管理、持続的森林管理、砂漠化対策、農業生産性の向上を通じた気候変動に対するレジリエンス強化などが喫緊の課題となっています。

このイベントでは、気候変動に関するサイエンスからの最新の分析を踏まえ、サブサハラ諸国における気候変動適応策を具体的に進める上で鍵となる、統合水資源管理を軸とした統合的なアプローチ、多様な関係者の協働、資金動員や民間セクターの役割について議論しました。議論では、国内における気候変動に関連する複数政策や案件の体系的な優先付け、水など案件形成と実施に実績のあるセクターの参画の重要性、資金の出し手と受け手の優先付けの一致、民間が参画可能なリスクを抑えた仕組み構築の重要性などの意見がありました。最後に、サブサハラ地域の気候変動適応策の推進におけるサイエンスに基づいた統合的なアプローチ、関係者の協働の重要性、それに向けた AI-CD（注）の改革を確認し、閉会となりました。

■本イベントの主な登壇者

【開会挨拶】

-天野雄介 JICA 理事

【登壇者】

-小池俊雄 水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）センター長
-イブラヒム・モハメッド ケニア環境森林省主席次官

- ゼウドゥ・セイフ エチオピア水技術機構 教育訓練総局長
- サメ・ワバ 世界銀行 都市・強靱性・土地開発 グローバルディレクター
- マナイエ・シヨウム WaterAid Ethiopia テクニカルサービス部長
- 熊平智伸 Komaza コーポレートファイナンスダイレクター

【閉会挨拶】

- 森下哲 環境省地球環境審議官

■脚注

AI-CD：「サヘル・アフリカの角 砂漠化対処による気候変動レジリエンス強化イニシアティブ」。2016年 TICADVI において JICA がケニア政府、セネガル政府、砂漠化対処条約事務局とともに立ち上げた。サヘル・アフリカの角地域の国々を対象とし、砂漠化対策を通じた気候変動対策に取り組むもの。

■写真



会場の様子



気候変動に対して強靱な水資源である地下水開発の様子

■関連する SDGs ゴール :

